

令和 5 年 5 月 23 日

報道関係各位

(公財) アイヌ民族文化財団

癒しの力を伝える旅「ジングルドレス・プロジェクト」

ウポポイでアメリカ合衆国の先住民族によるヒーリングダンスを披露します



©TAPAHE PHOTOGRAPHY

ウポポイでは、2023 年 5 月 30 日（火）に米国の先住民族ナバホの若手文化継承者 2 名をお招きし、疫病からの癒しを発端とする踊り「ジングルドレス・ダンス」を披露していただきます。

この事業は、米国の先住民族ナバホの写真家ユージーン・タパへ氏が 2020 年に開始したもので、「文化による癒し（Art Heals）：ジングルドレス・プロジェクト」という事業の一環として、踊り手 2 名が日本を訪れるものです。「ジングルドレス・ダンス」は、米国の先住民族オジブエ族に由来する踊りで、20 世紀初頭にスペイン風邪が流行した際、オジブエ族の男性が、踊りによる治癒の力を夢に見たことが始まりといわれています。このプロジェクトは、ジングルドレスの癒しの力を伝えるために旅をしながら各地を訪れ、写真作品や映像として発表されています。

新型コロナウイルスが流行する中開始された同プロジェクトは、2020 年 5 月から現在までの間に、ニューヨークのセントラルパークやイエローストーン国立公園など、アメリカを代表する場所を含む全米 25 か所以上を訪れています。今回、オリジナル・メンバーであるエリン・タパへ氏とディオーン・タパへ氏の両名が、2023 年 5 月に韓国と日本を訪れることになり、5 月 30 日（火）には日本の先住民族アイヌと米国の先住民族の交流の機会として、日本で初めて、ウポポイで踊りが披露されることとなりました。

- | | |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 2023 年 5 月 30 日（火）①10:45～11:00 / ②14:00～14:30 |
| 2. 会 場 | ①伝統的コタン コタン前広場 / ②チキサニ広場 |
| 3. 内 容 | プロジェクト紹介（逐次通訳）、踊りの実演 |
| 4. 料 金 | 無料 ※ウポポイ入園料に含む |

※時間・場所は変更になる可能性があります

※雨天の場合は、伝統的コタンのポロ チセ内（定員 40 名）で、10:45 と 13:45 にそれぞれ開催します

問合せ先

(公財) アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部

誘客広報部 広報課 かめた 亀田

TEL : 0144-84-6534 E-mail : submit@ainu-upopoy.jp

ウポポイ公式 WEB サイト <https://ainu-upopoy.jp/>

【プロフィール】**Eugene Tapahe ユージーン・タパヘ**

米国の先住民族であるナバホ族のデザイナー、アーティスト、写真家であり、南西部の風景や人々を撮影している。彼は、祖母、家族、文化からインスピレーションを受け、祖先の存在を感じながら、全米各地で撮影をしている。「ジングルドレス・プロジェクト」は、タパヘ氏の最も新しいプロジェクトで、伝承にある通り4人の女性と共に、各地でダンスによる癒しの力を広げ、写真作品等として発表した。

※ ユージーン・タパヘ氏は来日しませんが、英語でのオンラインインタビューは可能です。

Erin Tapahe エリン・タパヘ Dion Tapahe ディオン・タパヘ

父親であるユージーン・タパヘ氏と共に、「ジングルドレス・プロジェクト」に当初から参加し、全米をツアー。2023年に韓国と日本へ旅し、同プロジェクトを世界へ広げている。

※ エリン氏、ディオン氏へは当日インタビューが可能です（通訳付き）。

【広報用画像】

クレジット（以下すべて）： © TAPAHE PHOTOGRAPHY

高解像度のデータはお問合せ下さい。

